



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

Citrix XenDesktop の導入で IT の運用コスト削減とリスクの低減を両立。クラウド・サービスの展開に期待

“XenDesktop を利用した長期的な取り組みにより、期待している約 40%の ROI 向上という効果を現実的なものにできます。XenDesktop を導入したことは、IT システム構築としては究極の形だと思っています”

ニッセイ情報テクノロジー株式会社
基盤ソリューション事業部 ジェネラルマネジャー
兼 インフラインベション事業部
R&D 推進ブロック インフラサービス開発ブロック
チーフマネジャー 高倉 禎氏

ニッセイグループの IT 戦略を支援することを目的に、1999 年に誕生したニッセイ情報テクノロジー（NISSAY IT）。ニッセイグループの IT システムだけを構築、運用しているのではなく、たとえば外資系の保険会社に向けたソリューションの提供や、保険の支払い査定に深く関連する医療領域の IT 化などにも注力しています。また保険の販売チャネルが、営業職員から、代理店、そして金融機関代理店へと拡大していることから、新しい販売チャネル向けの業務パッケージなども提供。ニッセイグループにおける IT システム構築で培った、高度な保険・金融の知識や業務ノウハウなどを生かして、顧客の IT 化戦略を「ずっと支える」から、「もっと役立つ」パートナーへとなるべく、より一層のサービス向上に取り組んでいます。さらに NISSAY IT では、保険業界の IT 化におけるデファクトスタンダードを確立し、ニッセイグループをはじめとする保険業界にサービスとして提供していくことも目指しています。その一環として、クラウド環境の構築にも取り組んでおり、まず、デスクトップ環境の仮想化を実現するため、Citrix® XenDesktop® を利用したプライベート・クラウド環境を社内に構築しました。

課題：IT 運用管理の効率化とリスク低減をいかに両立するか

現在、保険業界では、少子高齢化により保険市場が縮小している中、経済状況も悪化し、経営環境が非常に厳しくなっています。そこで、いかに顧客満足度を向上させながら、効率的な経営を実現していくかが、市場における競争優位性の鍵となっています。一方、急成長している分野として医療保険があり、この分野でどのように差別化していくか、あるいは戦略的な投資をしていくかも重要な経営課題となっています。基盤ソリューション事業部 ジェネラルマネジャー 兼 インフラインベション事業部 R&D 推進ブロック インフラサービス開発ブロック チーフマネジャーの高倉 禎氏は、次のように話します。「経済環境が堅調なときには、保険会社も膨大な投資をして IT 資産を保有することが差別化につながる傾向にありました。しかし、市場や顧客の嗜好の変化が激しい現在では、これまでのような保有型の IT ではなく、必要なときだけ使うという IT が効果的です。そこでクラウド環境のような仕組みが有効になります」。

課題

- 運用管理の効率化とリスク低減
- セキュリティ強化

ソリューション

- XenDesktop によるデスクトップ仮想化

ベネフィット

- 運用管理の効率化とリスク低減の両立
- 事業継続性の確立
- セキュリティ対策
- パンデミック対策
- 約 40%の ROI 向上を期待

導入アプリケーション

- メール
- 勤怠入力システム
- 会計／給与システム

ネットワーク環境

- Citrix XenDesktop
- Citrix NetScaler

また NISSAY IT にとって、セキュリティ・リスクの管理も解決すべき重要な課題のひとつでした。たとえば生命保険会社では、顧客に健康上の問題などが発生した場合には、災害など何があっても保険金を支払わなければならないという責任があります。つまり、どんな場合でも事業を継続する事業継続性が重要になります。さらに紙で情報を管理している時代は、ファイルを数冊持ち出すことは現実的ではありませんでしたが、現在では、ファイル何冊分ものデータをノート PC や USB メモリで簡単に持ち出すことが可能です。そのため、より強固な情報漏えい対策も必要でした。インフラインベション事業部 R&D 推進ブロック マネジャーの南山 浩司氏は、「これまでの IT 化により事業の効率化を実現できたことは事実ですが、逆にリスクも増大させることになりました。そこで「IT の進化によるリスクの拡大を、IT によりいかに解決するか」が重要であり、その解決策のひとつが仮想化となります」と話しています。

ソリューション：デスクトップ仮想化を決定。XenDesktop を導入し 10,000 ユーザーに展開

NISSAY IT は、2008 年末ごろから仮想化に取り組んでいくことを決定し、まずはサーバー環境の仮想化を実施。約 50 台の物理サーバーを 5 台に集約しました。次に、2009 年春からデスクトップ環境の仮想化に取り組みはじめ、2010 年 7 月から XenDesktop の導入を開始。2010 年 10 月より、まずは NISSAY IT 社内 1,000 ユーザーから本番稼働を開始し、2011 年には 10,000 ユーザーに展開予定です。高倉氏と南山氏は、「構想期間は長く、実装期間は短く」が、XenDesktop 導入における成功の秘訣です」と話します。XenDesktop が採用されたのは、国内の大手企業に導入された実績があったことが最大の理由でした。インフラインベション事業部 R&D 推進ブロック 兼 インフラサービス開発ブロック 専門職の青山 宏氏は、次のように語ります。「他社製品も検証してみましたが、設定などの扱いは簡単だったものの、技術面の検証や、クラウド化を見据えた効率化とリスク管理の両立を考えた場合には、機能的に物足りませんでした。逆に XenDesktop は機能が豊富で、一見、扱いが難しそうでしたが、シトリックスのサポートもあり、まったく問題なく導入できました」。



基盤ソリューション事業部 ジェネラルマネジャー
兼 インフラノベーション事業部
R&D 推進ブロック インフラサービス開発ブロック
チーフマネジャー 高倉 禎 氏



インフラノベーション事業部 R&D 推進ブロック
マネジャー 南山 浩司 氏



インフラノベーション事業部 R&D 推進ブロック
兼 インフラサービス開発ブロック
専門職 青山 宏 氏



インフラノベーション事業部 R&D 推進ブロック
専門職 水田 智之 氏



インフラノベーション事業部
インフラサービス開発ブロック
井上 一馬 氏



シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
カスタマーサービス

☎ 0120-941-133

受付時間：月～金 9:45～17:30（土日・祝日は除く）

Email：cs-japan@citrix.co.jp

www.citrix.co.jp

NISSAY IT では、XenDesktop のアプリケーション仮想化機能を活用。メールや勤怠入力、会計・給与システム、セキュリティ対策など、社内システムの一部を社内を展開しています。青山氏は、「1 台の物理サーバー上で 200 ユーザーを管理しています。他社製品だとここまでのシステムは構築できませんでした。他社製品の制限に比べ、4 倍程度のユーザーを管理できることも XenDesktop を採用した理由のひとつでした」と話しています。

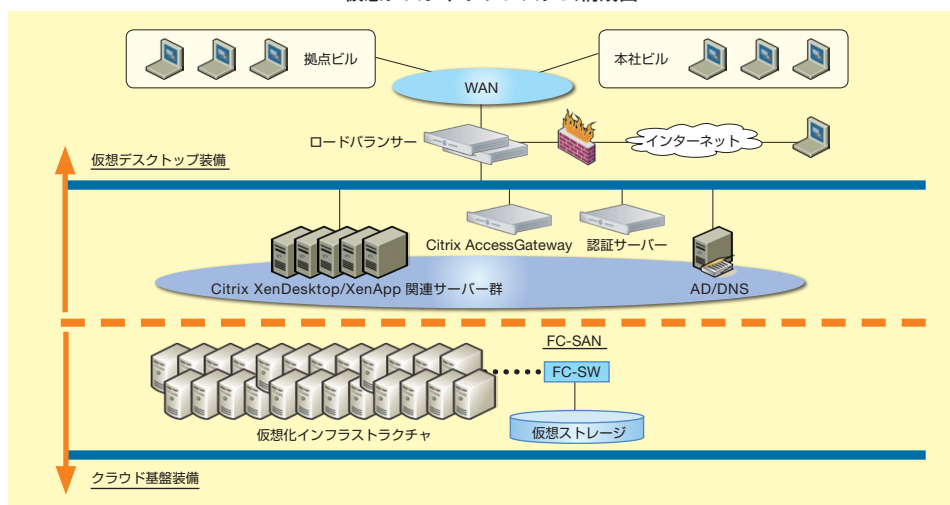
導入効果：XenDesktop 導入で 40%の ROI 向上を期待

XenDesktop を導入したことで、すべてのデータやアプリケーションをデータセンター側で管理することができたため、情報漏えいのリスクは大幅に軽減されました。インフラノベーション事業部 R&D 推進ブロック専門職 水田 智之氏は、「これまでもハードディスクの暗号化やデータ管理の徹底などの取り組みを推進してきましたが、厳密なリスク管理はなかなか困難でした」と話します。また、データセンターの冗長化やディザスタリカバリーなどの仕組みをきちんと導入しておくことが前提になりますが、XenDesktop の導入により、強力な事業継続性を確立することも可能になります。高倉氏は XenDesktop を導入した効果を、次のように語ります。「XenDesktop は、非常に付加価値の高い、複数の課題を解決できるソリューションです。つまりリスクの低減と運用管理の効率化という、相反する 2 つの問題を効果的に解決できます」そのほか新型インフルエンザの流行を背景に、パンデミック対策としても XenDesktop が有効になります。南山氏と青山氏は、「パンデミック対策は、これまで意識していなかったこともあり、想定外の効果です。パンデミックの場合でも、XenDesktop を利用すれば、自宅からセキュアに業務を遂行することが可能になります」と語ります。「XenDesktop を利用した長期的な取り組みにより、期待している約 40%の ROI（投資対効果）向上という効果を現実的なものにできます。XenDesktop を導入したことは、IT システム構築としては究極の形だと思っています」と高倉氏は話しています。

今後のプラン：XenDesktop を数万ユーザーに展開しクラウド化にも期待

NISSAY IT では、2011 年には、10,000 ユーザーに XenDesktop を展開。将来的には外部にも展開することを目指しています。高倉氏は、「まずは、ニッセイ情報テクノロジー全体に XenDesktop を展開し、その後、順次拡大していきたいと思っています。最終的には、クラウド環境による顧客向けサービスを実現することで、本格的な XenDesktop 環境の拡大を見込んでいます」と話します。また今後、XenDesktop 環境を拡大していくために、負荷分散の仕組みとして Citrix® NetScaler® を使用することを計画しています。水田氏と、インフラノベーション事業部 インフラサービス開発ブロック 井上 一馬氏は、「現状ではどれだけ帯域幅が必要なのか分からないので、ハードウェアアプライアンス版を使用して検証している中ですが、今後は仮想アプライアンスである Citrix® NetScaler® VPX の使用も視野に入れていきます。究極の効率化を考えた場合、すべての機能をワンパッケージに統合することが有効です。このとき NetScaler も仮想アプライアンス版の方がパッケージ化しやすいからです」と話しています。

仮想デスクトップシステム構成図



Citrix Solution について

Citrix® XenDesktop® はすべてのアプリケーションおよびデスクトップを、オンデマンドでサービスとして提供する業界初のソリューションです。Citrix® XenApp™ は Windows アプリケーションデリバリーのデファクトスタンダードです。アプリケーションの仮想化とアプリケーションストリーミングの 2 種類のデリバリーで、あらゆるユーザー、あらゆるデバイス、どのようなネットワーク環境からでも最適なアクセス体験を提供します。Citrix® NetScaler® は、Web アプリケーションを最適化するためのアクセラレーション機能と高度なセキュリティ機能を備えた次世代アプリケーションデリバリーシステムです。

©Copyright 2010 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix®, Citrix® XenApp™, Citrix® XenDesktop®, Citrix® NetScaler® は、Citrix Systems, Inc. の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。その他の社名、商品名はそれぞれの所有者の商標または登録商標です。

CSJ/NIT/1010/5000